

XI 花き類、樹木類の病害虫防除

1 花き

アイリス

—— 発病・加害時期
 === 発病・加害最盛期

作型・病害虫名 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
促成 12 月 出し								x-----x 冷蔵		● 球根植え	↑	収穫
白絹病 青かび病												

白絹病

留意事項

- 1 未熟な堆肥を施用すると発病を助長する。
- 2 土壌表面に湿気があり、土壌温度が20℃以上の場合、発生しやすい。
- 3 土壌pHがやや酸性になると発生が増える。
- 4 連作すると発生が多くなるため、できるだけ連作を避ける。

防除方法

- 1 被害株は株元の土とともに ほ場外に持ち出し処分する。
- 2 土壌消毒を行う。(XⅢ土壌消毒 参照)
 - ・ [バスアミド微粒剤](#)、[ガスタード微粒剤](#) 劇 <—>
 【花き類・観葉植物 20～30kg/10a は種または植付前/1回】
- 3 予防的に下記の薬剤を施用する。
 - ・ [リゾレックス水和剤](#) <14>
 【花き類・観葉植物 500～1000倍 株元かん注 (3L/m²) —/5回】
 - ・ [タチガレン液剤](#) <32>
 【1000～2000倍 土壌かん注 (3L/m²) 定植時及び生育期/6回】

青かび病

防除方法

- 1 無病の球根を選ぶ。
- 2 冷蔵処理を行う場合は、湿度が高くなりすぎないように空調を行う。また、処理中に球根を入れ替えて罹病球を除去する。
- 3 植付前に下記のいずれかの薬剤で球根を処理する。
 - ・ [オーソサイド水和剤80](#) <M4> 【400倍 30分間球根浸漬 植付前/8回】
 - ・ [ペルクートフロアブル](#) <M7> 【100倍 10分間球根浸漬 植付前/1回】または
 【200倍 30分間球根浸漬 植付前/1回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。